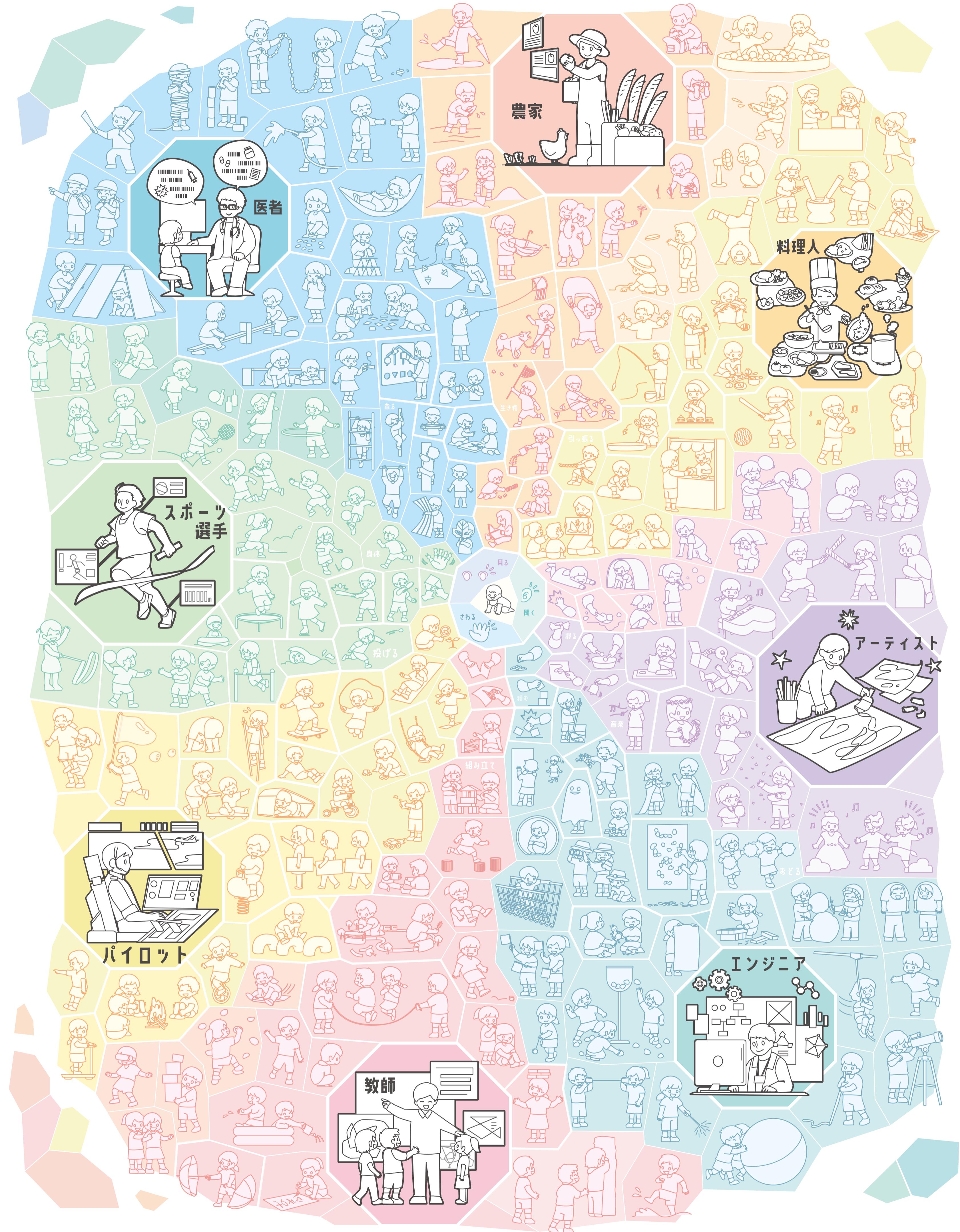


あそびが未来の種になる



こども環境サミット

あそびの環境提案・新商品発表・トークショー・イベント

2022.06.07 [Tue] - 06.09 [Thu] パシフィコ横浜

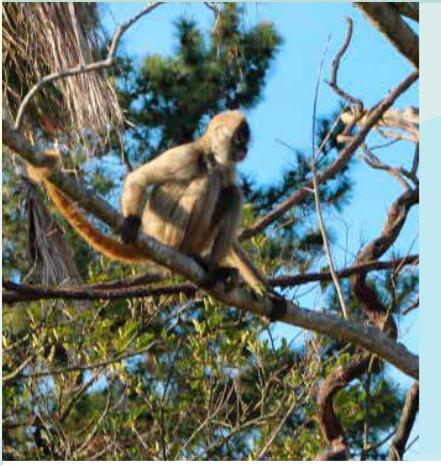
トークショー タイムスケジュール

6月7日[火]

10:00

T-1 動物と子どもの遊びの共通点

今、公園の遊具から子どもたちの歓声が聞こえてくるでしょうか。歓声や動きが絶えない遊び場とはどのようなものでしょうか。私は動物園のデザイナーとして、世界を歩いて動物が飛び交う展示をつくり、あることに気づきました。それは土地の起伏です。様々な起伏をもとに、心をくすぐる要素を織り込むことで、子どもたちの動きは舞います。



動物園デザイナー
若生 謙二
Kenji Wakao

動物園デザイナーとして多くの動物園でデザインの発信にとりくむ。最新作は2020年に完成した上野動物園の「パンダのもり」。子供の遊び場として、人工的な遊具複合ではなく、地面の起伏を活用した自然遊び場の必要性を提唱し、その実現に向けてとりくんでいる。ヒトと動物との関係学会会長、日本展示会会長。日本造園学会常務理事・関西支部長を歴任。東京大学農博博士。著書多数。『読みがえるセントラルパーク』(ソフトエイブル社)他。設計・天王寺動物園(アフリカサバンナ)、「アジの熱帯林」、よこはまスズランアーチ(チシマジンの森)、長野市茶臼山動物園(「ツツサバングルの森」)、飯田市動物園(カモシカの岩場、ベンギの丘)、熊本市動物園(「ホンサンザルの森」)等。日本造園学会賞、及び同特別賞受賞。東京市ときわ動物園(「中南米の水辺」)等の施工で国土交通省都市交通局長賞受賞。大阪府河南町子ども園自然遊び場等。

11:30

T-2 子どもの健やかな脳発達のために

人間の脳はどのように発達するのか。どの時期にどのような開拓が適切なのか。生活習慣と脳の関係、電子メディアとの接觸についてなど、子どもが健やかに育つためには、大人は何をすべきか。16万人の脳画像を見てきた脳学者である瀧靖之博士をお招きし、子どもたちの心身の発達を脳科学から紐解きます。



瀧 靖之
Dr. Yasuyuki Taki



東北大学スマート・エイジング学際重点研究センター長 東北大学加齢医学研究所教授 医師 医学博士
瀧 靖之
Dr. Yasuyuki Taki
東北大学加齢医学研究所及び東北メティカル・メガバンク機構で脳のMRI画像を用いたデータベースを作成し、脳の発達・加齢のカニスムを明らかにする研究者として活躍。映画や解説本で「MRIはこれまでに約6万人都上る。脳の発達・加齢に関する脳画像研究」「ヒトと動物の関係に関する研究」「肥満と脳萎縮の関係に関する研究」など多くの論文を発表している。
著書は、「生涯健やか脳(ソレイユ出版)」「『いい子』に育てる究極のコツ(文藝社)」「本当に脳教育」(PHP研究所)等。特に「生涯健やか脳」「『いい子』に育てる究極のコツ」は共に10万部を超えるベストセラーとなっています。
テレビ東京「主治医が見つかる診療所」、NHKスペシャル「インシュタイン消えた『天才脳』を追え!」、NHK「あさイチ」、TBS「駆け込みドクター!」など、メディア出演も多数。

13:30

T-3 共に生きる

生まれてすぐガン症と診断された金澤翔子さんは、5歳のときより母・金澤泰子さんに師事、書道を始めました。その書が各地で反響を呼び、NHK 大河ドラマ「平清盛」の題字を揮毫したことでも話題となりました。金澤泰子さんは、ダウン症児への理解を広めようと、全国で講演を行っておられます。今回の講演では翔子さんと共に生きてきた人生を語っていただきます。



久原書道教室 主宰
金澤 泰子
Susumu Koyama

金澤翔子の母。昭和大卒業。書家・柳田泰輔・泰山の師事。
1990年、書豪・大友区に「久原書道教室」を開業。書家に「天使の正体」(さくら書抄)、「翔子の手」(大和書房)、「鏡の歌心経」(世界文化社)、「心はおつかなでいる」(PHP研究所)、「金澤翔子」(平凡社)、悲しみを力に」(PHP研究所)など。久原書道教室主宰。東京芸術大学評議員。日本福祉大学客員教授。

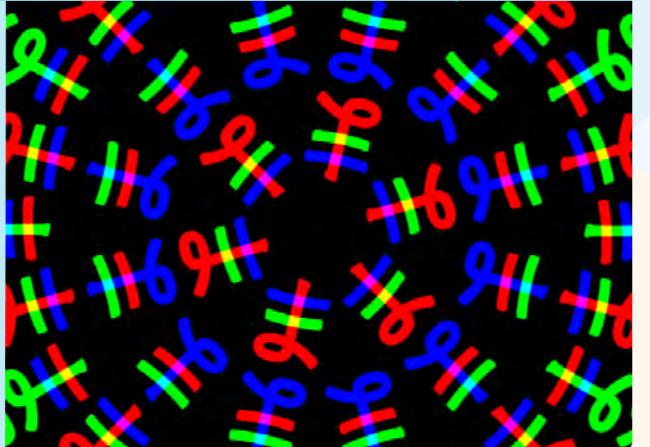
15:00

T-4 メディア遊具を通して子ども達に伝えたいこと

「映像 × 遊具」という新しい試みにチャレンジしたメディア遊具「OFURO」。今回、デザイン・映像制作を担当したグラフィックデザイナー・佐藤氏に、日常空間にある「お風呂」の中に、非日常的な映像空間を創り出そうとしたのか? 子どもたちの遊びをどのように変化させようと思ったのか? 開発への想いをお話いただきます。



グラフィックデザイナー
佐藤 卓
Taku Satoh



1979年東京藝術大学デザイン科卒業。1981年同大学修了。株式会社電通にて、1984年佐藤卓デザイン事務所を立ち、(株式会社TSDO)、「ロッテ キントットルカム」や「明治おじいちゃん」などのCMをはじめ、広くシルバークリエイティブアーティストとして活動。NHN Eテレにて「ひんごんごあそぼー」と「21_21 DESIGN SIGHT」でレクチャー、「デザインアート」の総合司会者、「21_21 DESIGN SIGHT」でアート批评家を務め、その後は主に出版社にて活動。2017年にオープンした富山県美術館では複数回、擬態美術をテーマとした企画展が並び「オノノペの巣」をデザインした。

その他 イベント情報

プロが教える! 本格クライミング

プロクライマーが超本格的クライミング遊具「CLIMBING WALL GAMBIA」にて実演を行います! 実演を通して、遊具での遊びや指導方法、安全に使用するためのポイントを学べます。また、実際に商品に触れて頂き、遊ぶことも可能です! クライミングで遊ぶことの楽しさや、養われる能力について実際に体験してみませんか。



プロクライマー
ZIPOCK Bouldering gym代表
渡邊 数馬
Kazuma Watanabe



大迫力! 書道パフォーマンス



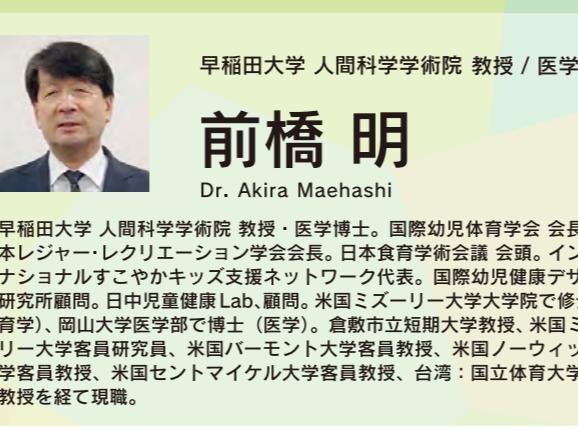
書家
金澤 翔子
Shoko Kanazawa

「ダウン症の天才書家」として知られ、東大寺・中尊寺・伊勢神宮など多くの神社仏閣で個展や納絵を行い、海外で個展を多く開くなど世界で活躍する書家・金澤翔子氏による実演書道パフォーマンスを行います。会場内特設ステージにてご覧いただけます。

6月9日[木]

T-5 乳幼児の発達を促す感覚・運動遊びについて

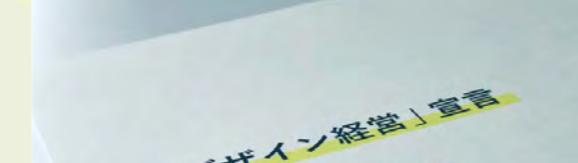
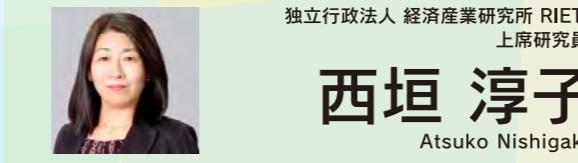
乳幼児の成長に合わせたからだの動きや、運動に親しむための遊びとは、どのようなものなのでしょうか? 子どもたちがからだを動かす楽しさや心地よさを感じながら、心身の発達に必要な運動経験がもてる感覚遊びや運動遊びについて、具体的な例をまじえながらお話をいただきます。さらに、運動の起こるしくみから、感覚を磨くことの大切さ、体力や運動能力の獲得について、理論面の面からも解説をしていただきます。



早稲田大学 人間科学学術院 教授 / 医学博士
前橋 明
Dr. Akira Maeashi

T-6 子どもたちのイノベーションの芽を育てる

日本の未来を担う子どもたち。未来に向けて、幼児期にイノベーションの芽を伸ばしていくことがどれほど大切なことか? 乳幼児教育・保育を担っている皆様方にお願いしたいことを、特許庁の「ジュニア イノベーション フェス」などの活動を通して今、考えていることをお伝えいただきます。



独立行政法人 経済産業研究所 RIETI
上席研究員
西垣 淳子
Atsuko Nishigaki

東京大学法学院卒業後、通商産業省(現経済産業省)に入省。2021年7月より現職。経済産業省デザイン政策室長時代に、ユーザー視点にたった「デザインの力」を活用した新たなビジネス展開を支援。後に、経済産業省/特許庁による「産業競争力とデザインを考える研究会」へと発展させ、「デザイン経営宣言」を2018年に発表。特許庁ではデザイン経営プロジェクトチームを率いている。

T-7 記憶をつくる仕事

形そのものを完成品ではなく、その形にどのような記憶が入っていくかということを想いながらものづくりを進めていく皆川氏。「どう記憶に残るか」ということは、皆川氏が常に考へているテーマだといいます。

生地を切ることで自分だけの作品が出来るように、自分の手で完成させていくことで、よりバーソナルなものになっていくと考える皆川氏のものづくりへの想いをお話いただきます。



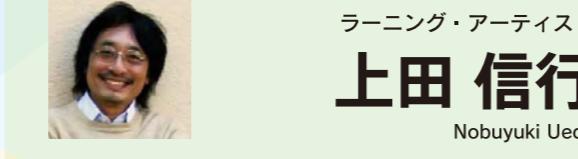
デザイナー
皆川 明
Akira Miagawa

1995年に「minä perhonen」の前身である「minä」を設立。ハンドドローイングを中心とする手作業によるテキスタイルデザインを中心に、衣服をはじめ、家具や器、店舗や家の空間デザイン、レクレーションなど、日々に寄り添うデザイン活動を行っている。デンマークの Kvadrat、スウェーデンの KLIPPANなどのテキスタイルブランド、イタリアの陶磁器ブランド GINORI1735へのデザイン提供、新規の掛け軸などを手掛けている。

T-8 あそびこそが「プレイフルラーニング」のSTEAMエンジンだ!

「あそび × STEAM」子どもたちは、あそびからドキドキ・ワクワクをたくさん感じています。創造性をあそびによって解釈することで、共創が生まれ「Playful」な環境が生まれます。今回は「ものづくり」からコミュニケーションを活性化させることで「Playful」を体験し、「ラーニングフル プレイ」(あそびの中で学びがあふれている)に気づく機会となっています。

生地を切ることで自分だけの作品が出来るように、自分の手で完成させていくことで、よりバーソナルなものになっていくと考える皆川氏のものづくりへの想いをお話いただきます。



シャピニアリスト・数学研究者
STEAM 教育者・メディアアーティスト
上田 信行
Nobuyuki Ueda
中島 さち子
Sachiko Nakajima

同志社女子大学名誉教授、ネオミュージアム館長。1950年、奈良県生まれ。同志社大学卒業後、文部省「文部省書道教室」を開設。書家に「天正の正体」(さくら書抄)、「翔子の手」(大和書房)、「鏡の歌心経」(世界文化社)、「心はおつかなでいる」(PHP研究所)、「金澤翔子」(平凡社)、「悲しみを力に」(PHP研究所)など。久原書道教室主宰。東京芸術大学評議員。日本福祉大学客員教授。

(株)steam 代表 取締役。(株)STEAM Sports Laboratory 取締役 / 代表・関西博テマ事業プロデューサー(「いのちをめぐらす」) / 2003年兵庫県三田市に「パティシエ エス コヤマ」を開業。フランスのショコラコンクールでは出品以来8年連続最高位を獲得。また、パティシエ・ショコラティエとしての領域に留まらず創作活動を行い、2015年には日本初の「The Lost Treasure」(作: 小山進、絵: にしのあきひろ)を出版。さらに、2019年と2年連続で「ビートルくんときんいろのバウム」「ショコラーターコイズとあわせのボンボンショコラ」と共にフレーバル版を出版し、エスコラマの挿画などを面的に発信している。

認定こども園 新宿せいが子ども園 園長
保育環境研究会ピーピングツリー 代表
新宿区短期大学客員教授

藤森 平司
Heiji Fujimori

1949年京都生まれ。2003年兵庫県三田市に「パティシエ エス コヤマ」を開業。フランスのショコラコンクールでは出品以来8年連続最高位を獲得。また、パティシエ・ショコラティエとしての領域に留まらず創作活動を行い、2015年には日本初の「The Lost Treasure」(作: 小山進、絵: にしのあきひろ)を出版。さらに、2019年と2年連続で「ビートルくんときんいろのバウム」「ショコラーターコイズとあわせのボンボンショコラ」と共にフレーバル版を出版し、エスコラマの挿画などを面的に発信している。

全国からの見学・研修を受けた保育園・幼稚園・小学校などをして、「見守る保育」を提唱している。藤森氏をお招きし、実践されているノウハウを交えながら子どもの主体性を育む環境づくりについてお話しいただきます。

人生の基礎を築く大切な力を育む場所とはどのようなものか、乳幼児施設の新しい変化と今後の保育のあり方にについて、「見守る保育」を提唱している藤森氏をお招きし、実践されているノウハウを交えながら子どもの主体性を育む環境づくりについてお話しいただきます。

認定こども園 新宿せいが子ども園 園長
保育環境研究会ピーピングツリー 代表
新宿区短期大学客員教授

藤森 平司
Heiji Fujimori

1949年京都生まれ。2003年兵庫県三田市に「パティシエ エス コヤマ」を開業。フランスのショコラコンクールでは出品以来8年連続最高位を獲得。また、パティシエ・ショコラティエとしての領域に留まらず創作活動を行い、2015年には日本初の「The Lost Treasure」(作: 小山進、絵: にしのあきひろ)を出版。さらに、2019年と2年連続で「ビートルくんときんいろのバウム」「ショコラーターコイズとあわせのボンボンショコラ」と共にフレーバル版を出版し、エスコラマの挿画などを面的に発信している。

全国からの見学・研修を受けた保育園・幼稚園・小学校などをして、「見守る保育」を提唱している。藤森氏をお招きし、実践されているノウハウを交えながら子どもの主体性を育む環境づくりについてお話しいただきます。

人生の基礎を築く大切な力を育む場所とはどのようなものか、乳幼児施設の新しい変化と今後の保育のあり方にについて、「見守る保育」を提唱している藤森氏をお招きし、実践されているノウハウを交えながら子どもの主体性を育む環境づくりについてお話しいただきます。

認定こども園 新宿せいが子ども園 園長
保育環境研究会ピーピングツリー 代表
新宿区短期大学客員教授

藤森 平司
Heiji Fujimori

1949年京都生まれ。2003年兵庫県三田市に「パティシエ エス コヤマ」を開業。フランスのショコラコンクールでは出品以来8年連続最高位を獲得。また、パティシエ・ショコラティエとしての領域に留まらず創作活動を行い、2015年には日本初の「The Lost Treasure」(作: 小山進、絵: にしのあきひろ)を出版。さらに、2019年と2年連続で「ビートルくんときんいろのバウム」「ショコラーターコイズとあわせのボンボンショコラ」と共にフレーバル版を出版し、エスコラマの挿画などを面的に発信している。

全国からの見学・研修を受けた保育園・幼稚園・小学校などをして、「見守る保育」を提唱している。藤森氏をお招きし、実践されているノウハウを交えながら子どもの主体性を育む環境づくりについてお話しいただきます。

人生の基礎を築く大切な力を育む場所とはどのようなものか、乳幼児施設の新しい変化と今後の保育のあり方にについて、「見守る保育」を提唱している藤森氏をお招きし、実践されているノウハウを交えながら子どもの主体性を育む環境づくりについてお話しいただきます。

認定こども園 新宿せいが子ども園 園長
保育環境研究会ピーピングツリー 代表
新宿区短期大学客員教授

藤森 平司
Heiji Fujimori

1949年京都生まれ。2003年兵庫県三田市に「パティシエ エス コヤマ」を開業。フランスのショコラコンクールでは出品以来8年連続最高位を獲得。また、パティシエ・ショコラティエとしての領域に留まらず創作活動を行い、2015年には日本初の「The Lost Treasure」(作: 小山進、絵: にしのあきひろ)を出版。さらに、2019年と2年連続で「ビートルくんときんいろのバウム」「ショコラーターコイズとあわせのボンボンショコラ」と共にフレーバル版を出版し、エスコラマの挿画などを面的に発信している。

全国からの見学・研修を受けた保育園・幼稚園・小学校などをして、「見守る保育」を提唱している。藤森氏をお招きし、実践されているノウハウを交えながら子どもの主体性を育む環境づくりについてお話しいただきます。